第５期芽室町総合計画後期実施計画策定に係るめむろ未来ミーティング用シート

テーマ	まちなか（中心市街地）活性化	担当課：	商工労政課、魅力創造課、政策推進課

１．前期実施計画期間（2019年度から2022年度）における目標

・農業を軸とした産業連携による商工業の振興及び企業誘致と中心市街地活性化による地域内経済循環をすすめます。（施策の方針）
・「まちなか再生会議」において、人の歩く中心市街地を目指した取組を検討します。（施策の主な内容）
・「めむろ駅前プラザ」「リビングカフェENGAWA」「めむろステーションギャラリー」など、町民が集い、賑わうスペースを継続して開設するとともに、施設の老朽化に対応した改修を行います。（施策の主な内容）

２．１における取り組み状況

・「まちなか再生会議」では次のような意見がありました。
①中心市街地の空き店舗所有者、住人には建物・土地を手放してもらい、場所を作る
②新規開業者、既存店舗（後継者がいる）両方に支援が必要
③人が集まる場所を作る
④街中駐車場の整備（イベント会場兼用）
⑤情報発信して、町外から起業者を呼び込む
・町民が集い、賑わうスペースの開設については、特に昨年からは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、人が集まるということが難しくなり、駅前プラザも含めた多くの公共施設で利用者が減少しています。

３．２における課題

・空き店舗所有者やそこに住んでいる方に建物や土地を手放す（他の方に譲渡する）ことを促すには、町、民間どちらが行うにも多額の費用が必要になります。また、住んでいる方に移動していただくには、現在と同様の利便性の高い移転先を新たに確保したうえで、移転に同意いただく必要があります。
・人が集まる場所、町民が集い、賑わうスペース、人の歩く中心市街地づくりには、人が集まる仕掛けづくりの他、観光との連携などが考えられます。

４．後期実施計画（2022年度から2025年度）に向けて今後の取り組み予定

・これまで「中心市街地活性化」として、商工業振興を目的にさまざまな事業を行ってきましたが、まちなかを人が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場として、多くの方がその場に愛着を持ち、郷土愛に繋げられるよう「まちなか再生」に取り組みます。
「まちなか再生」はこれらの場の実現だけでなく、地域消費や観光客の増加などさまざまな地域課題の解決や新たな町の魅力づくりにも繋がるため、後期実施計画の策定にあたっては、まちなか再生を通して町民の皆さんの郷土愛の醸成や地域内経済循環、観光客の増加などへの波及などを想定して施策の見直しを行ない、次世代に繋ぐ「まちなか」づくりを目指します。